



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.12 (81)

2010.12.28

2010年が暮れようとしています。情報機器の発達で、何となく人間関係が粗雑になっていく感じですが、本研究会は医学と統計科学に根ざす「人づくり」を応援しています。しょうじたけしさんの詩で2010年から2011年へつなぎたいと存じます。

ありがとう / ありがとう / いえば / とっても / いいきもち

いわれりゃ / もっと / いいきもち / ありがとう / ありがとう

[木内喜久雄・小林信次：子どもといっしょに読みたい詩，たんぽぽ出版，2006].

この一年，会員の皆様には，ご支援，ご高配をいただきありがとうございます。皆様，佳い年をお迎えください。

- 1 恒例のウィンター・フォーラム2010が，12月4日(土)に大阪大学 大学院基礎工学研究科 J棟共用セミナー室(J120)にて以下の次第で開催されました[敬称略].

開会の挨拶：白旗慎吾

第1セッション

座長：坂本 亘

吉川隆範：統計的変換論の研究.

横山隼人：統計的視覚表現法の研究(2).

大山秀輔：交互作用とその評価.

田中範佳：手術室における統計的検討の seeds.

池田敏広：ステップワイズ法による主効果の選択.

中村将俊：Lasso 調整型確率化平衡樹木法による回帰解析.

第2セッション

座長：辻 光宏・草場茂喜

山口祐介：データの復元とその問題.

五十川 直樹：Bayes 流接近法におけるモデル選択について.

米山昭成：リウマチの治療効果の計量と評価.

金 水龍：設計科学におけるタグチメソッド.

永久保太士：経時対応データのノンパラメトリック解析.

後藤昌司：計画と遂行の過程：平成22年度中間報告.

第3セッション

座長：勘場 貢・米山昭成

大江基貴：共変量を伴うROC曲線の推測とその周辺.

高瀬貴夫：経時対応データの要因変動解析.

川端ゆみこ：ベキ正規分布に基づく生体リズムの評価.

元垣内 広毅：Ensembled multivariate adaptive regression splines
with nonnegative Garrote estimator.

丸尾和司：Inference of parameters of the power-normal distribution.

池田公俊：Longitudinal MARS and its applications.

第4セッション

座長：向井満利

河合統介：リーダーシップとは何か.

寺野真明：リーダーとしての率先重範.

志賀 功：2010年を振り返って：将来への一里塚.

第5セッション

座長：藤崎恒晏・越智義道

尾崎寿昭：形状不変モデルとその推定.

尼ヶ崎 太郎：2010年の勤行.

藤澤正樹：打ち切り分布に基づく標本サイズ的设计とデータの解析：その後.

勘場 貢：要請する仕事と要請される仕事.

前田 博：西国33ヶ所巡礼の旅を終えて.

松原義弘：最近の臨床研究と統計家.





ウインター・フォーラム2010でのひとこま

ご参加いただいた方々から、ご感想を頂戴いたしました。友情に感謝いたします。

- 今年も全国から医学統計研究会の会員の皆さんが一同に集結し、それぞれの活動報告、あるいは将

来へのメッセージを発信されました。その中でもとくに印象深かったのは、リーダシップ・セッションでした。今後リーダを目指す人には、是非とも聴いていただきたい内容でした。河合 統介さんの言葉で「リーダ像とは、本を見て学ぶものではなく、自分で造り上げていくものである。リーダの良し悪しは、その人がどうであれ、結果として、人がついてきているかどうかである」との台詞に感銘を受けました。また、納会も40名近くの方が参加され、盛大に盛り上がりました。尾崎 寿昭・真由美 夫妻の幸せいっぱいの結婚報告や寺野真明さんの室長就任の報告もあり、明るい話題が飛び交いました。最後になりましたが、女性の参加者が若干少なかったように思いました。女性会員の皆様が気楽に参加できるような雰囲気づくりを目指していきたいと思えます。・・・藤澤正樹

- 本年はウィンター・フォーラム 2010 に午前中から参加いたしました。学生の方々や私を含めた社会人博士課程の皆様の研究主題に関する発表や、企業の統計家の実務における経験を聴くことができ、大変に啓発され、今後の研究や業務の励みになりました。とくに、午後の河合統介さん、寺野真明さん、志賀 功さんの方々の「企業のリーダ」セッションについては、私はリーダになったことはありませんが、企業のリーダの心意気を大変に興味深く聞かせていただきました。

夜の順平での納会は料理・お酒ともに非常に美味しく、ここでの酒食を楽しまねば一年を終わることはできないと思うほどでした。また、他の参加者の方々とフォーラム中にできなかった情報交換も存分にでき、非常に有意義な1日を過ごさせていただきました。・・・丸尾和司

- 2010年12月4日、今年も恒例の「ウィンター・フォーラム」が開催され、夜行バスに揺られて遠く東京から参加させていただきました。当日には夜行バスが思いのほか早く大阪に到着したので、久しぶりに阪急蛍池駅から大阪大学まで徒歩で向かいました。かなり久しぶりに蛍池に立ち寄ったのですが、以前と変わらぬ町並みにとてもホッとする安心感のような気持ちを覚えました。コーナから大阪大学正門の方へ歩いていくと左手にローソンがあるのですが、朝食を買おうとそこへ立ち寄ると、学生時代と同じ店員さんがいて、「ああ、本当に変わらないな」と早朝から微笑ましい気持ちでした。蛍池から徒歩で向かってみたものの、結局ウィンター・フォーラムの開始よりも1時間弱早く大阪大学に着いてしまったので、大学院で所属していた白旗研究室に立ち寄りしました。研究室ではD1の山口祐介君とM1の吉川隆範君が早朝から頑張っていて、2年ほど前は「ここに自分がいたんだなあ」と懐かしい気持ちになりました。研究室内のレイアウトは随分変わっていましたが、前と変わらぬ雰囲気にとっても落ち着く気分でした。この時点ではウィンター・フォーラムの会場は例年のようにG棟5階のPBL実習室だと思いついていましたが、山口君との会話で会場がJ棟1階共用セミナー室であることを初めて知りました。BRAの中では非常に少数派である愛煙家の私としては、このうえなくありがたい気持ちでした。来年からもJ棟1階共用セミナー室で開催していただけることを願っています。ウィンター・フォーラム 2010 では、学生をはじめとする気鋭の研究者による1年間の研究の「総まとめ」が発表され、大いに刺激を受けました。とくに、学生時代に共に切磋琢磨した中村将俊君と五十川直樹君の発表には、「負けていけない」という強い気持ちを抱かされました。「リーダシップ」・セッションは、「リーダーとはかくあるもの」という堅い内容かと身構えていたのですが、面白おかしく話して下さった寺野真明さんのご発表に大いに興味が湧きました。前田 博さんのご発表にあった「西国 33 カ所巡礼」は個人的にはとても興味を惹か

れました。正直あまり詳しくはないのですが、私もやってみたいと思いました。昼休みにはBRAの諸先輩方と一緒にさせていただき、通称「館下食堂」で、(私だけかもしれませんが)定番メニューであった「天津麻婆丼」を食べました。「館下食堂」はちょうど私たちの卒業の時期からしばらく改装工事に入っていて、改装後初めて訪れたのですが、綺麗になった内装にも変わらない「定番」の味にも感動させられ、無事に昼の部の目標を達成することができました。さて、ウィンター・フォーラムといえば、夜の「順平」です。これを楽しみに参加されている方が多いのではないのでしょうか。去年に参加できなかった分、私は非常に楽しみにしていました。定番となっている蟹蒸籠蒸しと米沢牛は今年も非常に美味しく、いつまでも変わらないウィンター・フォーラムの味であって欲しいと思いました。社会人となって早くも1年半が過ぎましたが、これほど濃密な1日はウィンター・フォーラムでしか味わうことができません。本年も堪能させていただきました。来年も、是非とも参加させていただきたいと思います。最後になりましたが、ウィンター・フォーラムでお世話になった皆様に、この場をお借りして御礼申しあげたいと思います。ありがとうございました。・・・

・・大江基貴



納会でのひとこま

2 定例研究会[東京]2010-12-9 が、12月9日(木)にちよだプラットフォーム会議室にて以下の次第で開催されました[敬称略].

演者・演題： 古川泰伸. ベキ正規分布に基づく生物学的同等性の評価.
柴田義貞. 回帰分析と群間比較.
後藤昌司. POC とは何か

課題検討会は「浅野屋」で開かれ、9名の方々が参加されました。最近の臨床評価および統計的な研究主題の話題について活発な意見交換がありました。次回は2011年1月28日(金)に開催される予定です[会場未定].

3 定例会[大阪]2010-12-18 が、2010年12月18(土)に大阪大学大学院基礎工学研究科 J 棟 617号で開催されました[敬称略].

演者・演題[座長：富金原悟/坂本 亘]

- ・ 吉川隆範：統計的変換論の研究.
- ・ 横山隼人：統計的視覚表現法の研究.
- ・ 大山秀輔：交互作用とその評価.
- ・ 山口祐介：データの復元とその問題.
- ・ 後藤昌司：計画と遂行の過程[平成22年度中間報告]
- ・ 池田敏広：階層仮説に基づくモデル選択.
- ・ 永久保太士：経時対応データのノンパラメトリック解析.
- ・ 金 水龍：設計科学におけるタグチメソッド.
- ・ 米山昭成：リウマチの治療効果の計量と評価.

なお課題検討会は「うを清」にて開催され、9名の方々が参加されました。最近の統計科学における主題と2011年に予定されてる国際会議およびそこへの参画・発表が議論されました。次回は2011年1月22日(土)に開催される予定です.

4 特定主題シンポジウム2011「国際共同治療における事例研究と統計的諸法」が2011年1月29日(土)にアステラス製薬(株) 東京本社別館 信和ビル 6階会議室にて開催されます。演者と演題は以下のとおりです[敬称略].

- ・ 坂谷泰史：国際共同治療：症例数と日本人の割合
- ・ 池田公俊：国際共同治療に関する統計的諸問題
- ・ 下川敏雄：がん臨床試験における医師主導型国際共同治療の事例と統計的問題点
- ・ 関根恵理：国際共同治療から得られたもの
- ・ 河合統介：演題未定
- ・ 安藤友紀：演題未定
- ・ 小野俊介：国際共同試験というお作法：規制が生んだ歪みを皆で語ろう（クビにならぬ程

度に)

〔5〕今後の予定および連携事業についてお知らせいたします[敬称略].

(1)特定主題セミナー2011「臨床検査値の変動と評価」を以下の次第で開催いたします[敬称略]. 2008年6月21日に岡山にて開催しました特定主題シンポジウム2008「医学・健康の計量分析」(日本行動計量学会・第92回行動計量シンポジウムと共催)での諸種の問題点についてさらに深めた議論を意図しています.

日時:2011年3月12日(土) 10時~16時

会場:大阪大学大学院基礎工学研究科J棟

組織者:坂本 亘・越智義道・後藤昌司

(2)平成22年度第3回理事会を以下の次第で開催いたします.

日時:2011年3月12日(土) 16時~17時

会場:大阪大学大学院基礎工学研究科J棟

理事の方々にはご参集をよろしくお願ひいたします.

(3)2005年から続けて参りました特定主題セミナー「臨床評価におけるデータマネージメントの過程」を,6年間の継続の実績を踏まえ,平成23年度には,これまでの参加者を主体に「実践・学習発表会」を6月10日(金)に開催する予定です.できるだけ多くの方々に,これまでの経験事例や問題点などをご紹介いただくと幸いです.ご発表・ご参加をよろしくお願ひいたします.

(4)大分統計談話会・第43回大会が以下の次第で開催されます.

日時:2011年2月17(木)-18日(金).

会場:富士通大分システムラボラトリ・AVホール2階.

(5)日本心血管インターベンション治療学会からの要請を受け同会誌に「医学統計概論」の連載を担当しています.最新号に2回目の作品が掲載されています.

坂本 亘・後藤昌司. 医学統計概論:多変量解析とは. CVIT,2(4),295-302.

Newsletter 編集:

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先:医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介・大山秀輔・横山隼人・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax: 06-6835-8790 / e-mail: bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニュースレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます.